

リモートeシール方式に関する検討事項

2021年3月26日
富士通株式会社

リモートeシール方式に関する検討事項

リモートeシール方式に関する検討事項を以下に整理いたします。

課題	詳細	検討課題
複数のデータ/文書に対するeシールの一括付与について 詳細1参照	<p>E Uにおいては、多数のデータ/文書に対する一括署名方式を認めるかについて加盟国で対応が分かれている。</p> <p>今回の調査においてバッチ処理で大量に文書等を発行する国内事例（請求書、残高証明書等）があります。</p> <p>我が国においてeシールの一括署名方式を認めるかの検討が必要と考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none">一括署名方式の可否
eシールを付す際の認証の在り方について	<p>企業における文書発行処理においては、バッチ処理などでアプリケーションによる自動発行が行なわれる事例が多くみられた。</p> <p>バッチ処理などでアプリケーションによる自動発行が行なわれる場合の認証（多要素、多段階、人を介在させない方式等）の在り方について検討が必要と考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none">アプリケーションによる鍵認可処理の可否マシン~マシン間の認証方式の検討（特に、人を介在させない方式）
リモートeシールにおける利用者の認証要素の管理の在り方について 詳細2参照	<p>今回、実証実験で使用したinvois3(インボイスキューブ)サービスは、クラウド上で複数の企業へサービス展開しています。</p> <p>このような第3者サービス提供者を含めたリモートeシールの認証要素の管理の在り方について検討が必要と考えます。</p> <p>※invois3：弊社が提供する請求支払業務電子化SaaSサービス</p>	<ul style="list-style-type: none">アプリケーション提供事業者による認証要素の管理可否

複数のデータ/文書に対するeシールの一括署名方式を可能とするか？

アプリケーション
提供事業者

請求書発行処理

CSCのAPI

1. 署名必要数（署名カウンタ）を要求
2. 許容された時間の範囲で、対象データをアップロード
3. 署名が付与されたデータをダウンロード

※API概要は次頁

リモートeシール
署名事業者
(認証局)

大量データに対する署名
に対応

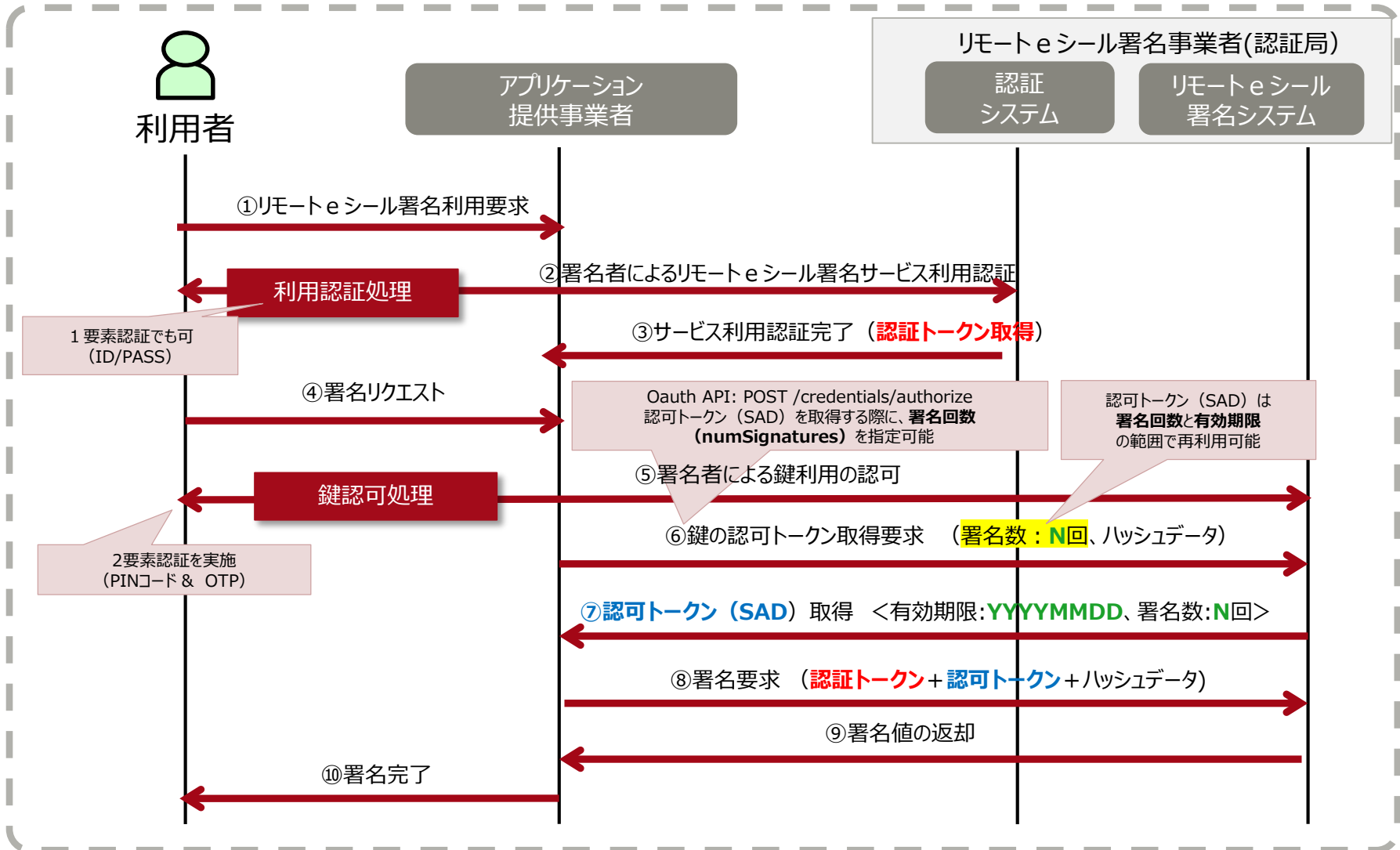
一括署名が必要と思われる業務例

- 銀行が企業向けに発行する残高証明書
 - 企業のリクエストに応じて発行
 - 都度の発行に加え、決算時期のタイミングで自動発行
- バッチ処理による請求書/領収書の発行
 - 基幹系の業務プロセスにおいて夜間等に一括処理

(企業ヒアリングで得られた情報より)

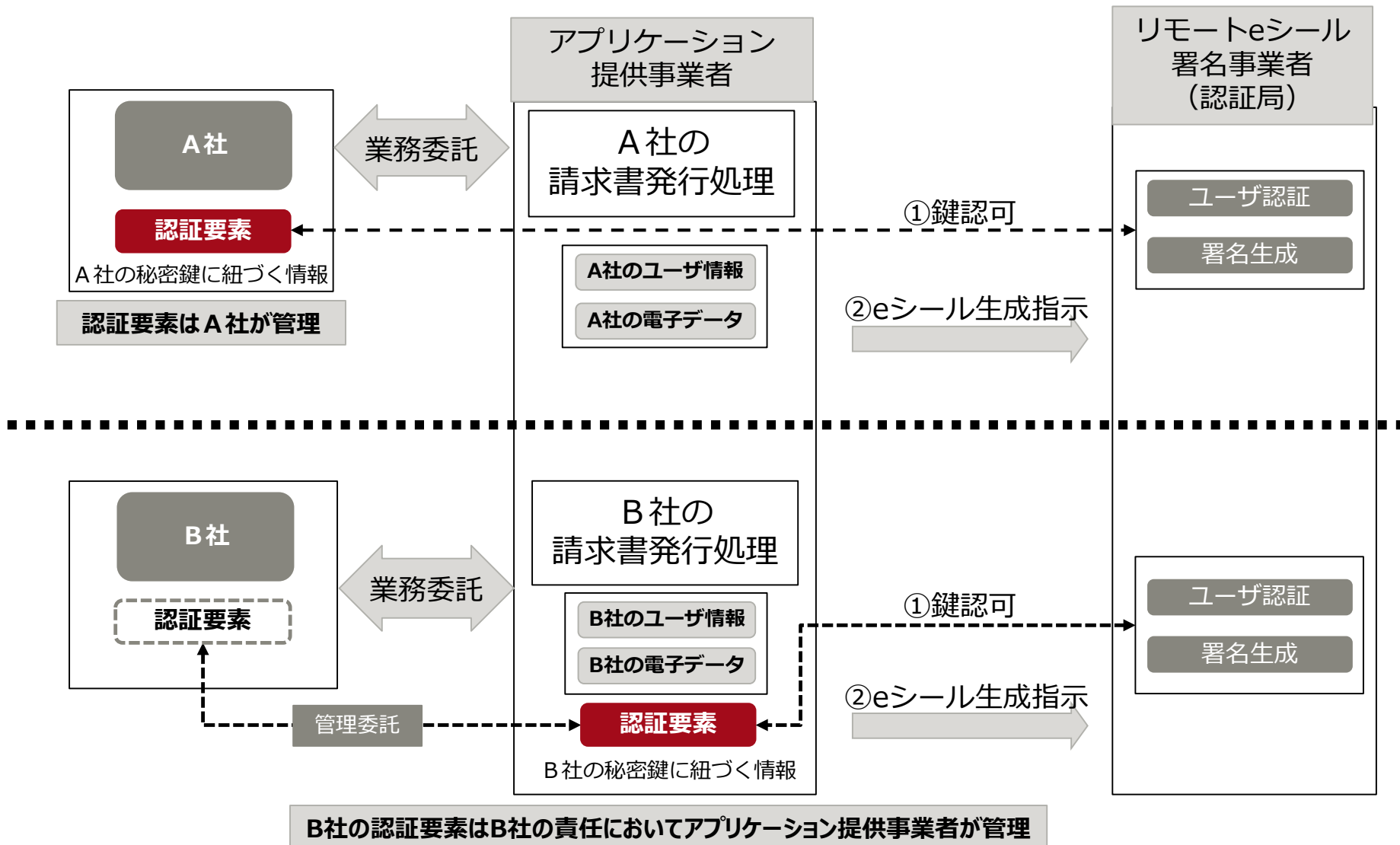
詳細 1 : 複数のデータ/文書に対するeシールの一括付与について FUJITSU


参考 : CSCの一括署名APIモデル (署名カウントと有効期限で対応)



※CSC : Cloud Signature Consortium(クラウド署名コンソーシアム)

利用者の認証要素の管理をアプリケーション提供事業者が行なうことを認めるか？





FUJITSU

shaping tomorrow with you